

令和元年度 岐阜県立多治見高等学校 第2回 いじめ防止対策委員会 議事録

日時：令和2年2月19日（水）

場所：多治見高等学校 校長室

出席者	学校関係者	校長	教頭	生徒指導部長	各学年主任	教育相談担当
	第三者委員	臨床心理士		川原 聡 様		
		保護者代表		小木曾照代 様		
		地域代表		村瀬 功一 様		

1. 開会あいさつ（鈴木 彰 校長）

お忙しい中、ありがとうございます。

前回の「いじめ防止対策委員会」の報告も含め、今日はよろしく申し上げます。

2. 令和元年度の取り組みの報告と説明

①年間活動報告（生徒指導主事：加藤）

- ・例年通りに実施した。
- ・昨年度に引き続き、生徒への教育相談講話と職員研修を川原先生にお願いした。生徒には大変好評であった。（学校誌「公孫樹」に感想記載。）
- ・9月中旬からの事案について、いじめ問題として会議を開いた。
- ・「ひびきあいの日」人権一斉LHRでは、人権映画の視聴をした。
- ・いじめ迷惑調査を3回実施した。

②いじめ・迷惑調査結果（教育相談担当：市岡）

- ・1回目は無記名式。いじめのあった場合、2回目は記名式で再実施。無記名になると記入が少なくなる傾向がある。再調査で出てくることがある。人間関係のトラブルと思われるものが、いじめと捉えられていることがある。
- ・記名式再調査で「見た」と回答した場合は、担任から本人に聞き取りを行う。場合によっては面談、SCによるカウンセリングを実施した。「見た」が多い。直接本人に聞いた結果、見守っていく事が多いが、カウンセリングに繋げた事案もある。
- ・11月調査でいじめの件数は増加した。再調査では出なかったものもある。
- ・部活動内の事案、3年生の事案が多かった。
- ・1月調査では例年より多かった。部活の先輩との人間関係。顧問と先輩との話し合いが行われた。
- ・冷やかし、からかいが昨年から続いているという本人からの申し出については、本人と面談を持つ。
- ・他のクラスの生徒が泣いているのをみた。健康面で不安定のためだった。問題なし。

(生徒指導主事：加藤)

- ・今年度、調査や申し出のあった「いじめ事案」を12月までに県に5件報告。
- ・設問の文言について、川原先生からのアドバイスより「されたと感じたことがある。」と変えて作った。

③事案報告

今年度中にあった「いじめ事案」について報告と今後の指導方針

3. 質疑応答

保護者代表より

人間関係のトラブルやいじめ事案には、母親として焦りを感じるのではないか。安心をしてもらえるような早期の対応が必要ではないか。

渡辺学年主任

いじめに限らず、生徒は正解をすぐに求めてしまう傾向にある。人間関係で何が起こるか分からない中で、今の生徒はひとつつまずいた後が心配。見守っていく必要を感じる。

4. その他

「学校いじめ対策組織による評価シート」について。

来年度の組織について、この組織に新たに弁護士が加わる。

5. 閉会あいさつ (鈴木 彰 校長)

今年度は臨時の会議もあり、お世話になりました。

先ほどの報告にもあったが「他クラスの生徒が泣いている。」と心配した生徒が何人かいた。他のクラスから見守ってくれていた。本校の生徒は優しいし、思いやりがある。

最近、他の学校でもよくある人間関係のトラブルについて、保護者に納得してもらえないことがある。岐阜市での自死事案もあるので、我々もアンテナを高くして事に当たっていきたい。今後も何かあればご連絡をお願いします。

1年間お世話なりありがとうございました。